



○ 西濃厚生病院の概要

所在地 : 岐阜県揖斐郡大野町下磯293番地1(予定)

敷地面積: 77,864.70㎡

延床面積: 38, 177. 64㎡

病床数 : 400床

病床機能: 急性期293床

回復期107床(緩和ケア25床含む)



〇 建物概要

【本館棟】

1階 外来診察室、化学療法室、救急部門、薬剤部門、放射線部門

検査部門、医事課、売店

2階 内視鏡センター、透析センター、手術部門、健診センター

3階 回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟

リハビリテーションセンター

4階 一般急性期病棟

5階 一般急性期病棟

6階 一般急性期病棟、緩和ケア病棟

PH 屋上へリポート

【附属棟】

放射線治療棟、サービス棟、保育棟他

○ 西濃厚生病院の特色

- ① がん診療への対応について 西濃医療圏 "初"となる緩和ケア病棟の整備 放射線治療装置等の導入、化学療法室の整備、がん疼痛等に対するケア
- ② 災害時における医療提供について 敷地を高く造成することによる水害対策 災害時に対応できるインフラ設備の整備(非常用自家発電装置、地下水供給システム 等)
- ③ へき地医療等について へき地医療提供体制の継続 (揖斐郡揖斐川町 久瀬国民健康保険診療所への医師派遣)
- ④ 感染症医療について 新興感染症への対応可能な施設の整備

○ 西濃厚生病院における新規導入器械

高精度放射線治療装置



デジタルPET/CT



内視鏡手術支援ロボット



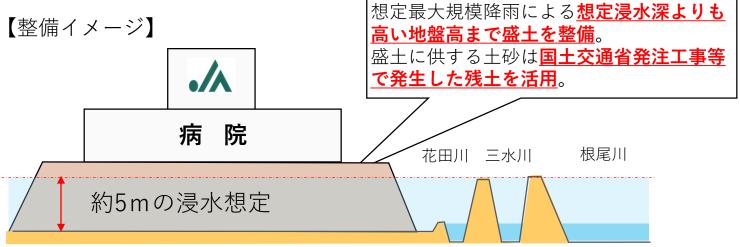
〇 災害(水害)対策について

○ 想定浸水深は約5mだが、『想定最大規模降雨による想定浸水深よりも高く造成』することで安全性を確保する。

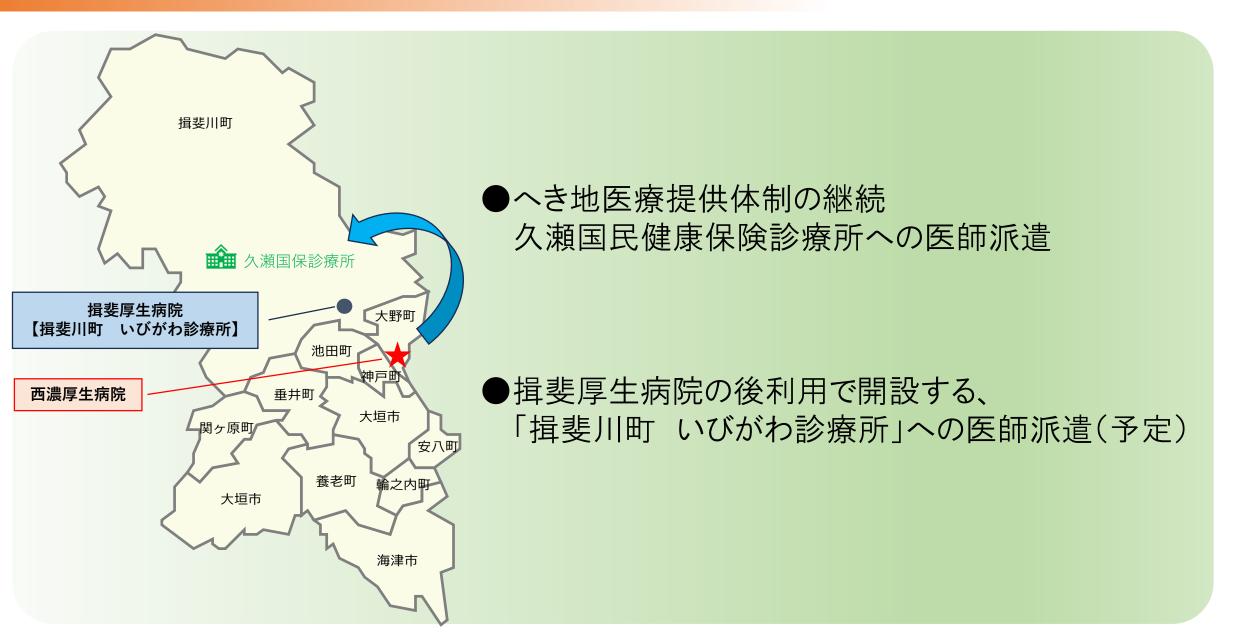




病院建設地・利用者駐車場は でも機能継続が出来るよう、<u>最大で</u> 6 mの嵩上げ



○ へき地医療等の提供体制について



○ 新興感染症への対応可能な施設の整備について

- ●感染外来の設置
- ●新興感染症等の発生時に利用できるエレベーターの設置
- ●大規模感染症発生時に患者受け入れを想定した、全室陰圧による管理が 可能なエリアを整備

